科目番号	59019	分類	専門科目 環境保健学	履修者	看護学研究科博士課程	学年
科目名	地域保健学 （ Community health science ）					1 配当セメスター 通年

担当者	○福島　富士子　他２名	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】地域保健の定義について、理論基盤について概説する。地域保健の目的が、「自らの健康や QOL を維持・改善する能力の向上及び対象を取り巻く環境の改善を支援することにより、健康の保持増進、健康障害の予防と回復を促進し、もって人々の生命の延伸、社会の安寧に寄与することである」ことについて、具体的な方法、対象、目標、活動の場等、具体的な実践活動例をとおして説明する。また、それらの特徴的な活動方法・技術を明確にすることにより、地域保健の専門性について探求するとともに、実践活動の質の向上と、その活動を担う看護職の専門的能力の向上を図る。 【目標】地域保健学領域における現象を科学的に分析・評価するため、関連事項を幅広く理解する。看護学を発展させるための基礎的研究能力を習得する。 1．地域保健学の機能について、公衆衛生看護の側面から、その特徴を検討する。 2．個人家族と地域（コミュニティ）の健康課題を連動させながら対象の生活に視点をおいた支援について検討する。 3．個人家族と地域（コミュニティ）を包括した地域診断について実践できる。 4．対象とする地域（コミュニティ）や関係機関との協働について健康を支えるシステムの創生について検討する。 5．地域看護の実践と学術活動の融合について検討する。		1．看護学の継承・発展を担うための研究能力
		2．人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力
	○	3．地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力
	○	4．臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	5．臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力
		6．実践を行いながら学部学生の臨地実習を指導できる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
1	導入　授業オリエンテーション／地域保健学の概要 ねらい）本科目の目的目標、地域保健学の概要を理解する。	福島 他２名
2-3	保健活動の基礎的知識 ねらい）保健活動の一連の流れである、事例把握、地域診断、活動計画、実施評価、改善の実践活動について、PDCA 理論を用いて、理解する。	
4	地域診断の手法 ねらい）地域診断の手法を学び、その理論を理解する。	
5	事例からつなげる地域診断 ねらい）事例をとらえて、「個の課題」から「地域課題」へ導く過程を理解する。	
6	地域保健活動と保健統計 ねらい）地域保健活動のための保健統計の活用を考える。	
7	地域を対象とした活動１　母子保健活動、健康づくり活動 ねらい）地域における母子保健活動、健康づくり活動の実際を理解する。	
8	地域を対象とした活動１　災害対策、感染症対策 ねらい）地域における災害対策、感染症対策の活動の実際を理解する。	
9	地域組織活動の分類と活動の特性 ねらい）地域組織活動の特性と分類を考える	
１０−11	地域診断の演習 ねらい）事例を用いて、地域診断を実施する。	
12	地域ケアシステムの構築と維持 ねらい）地域ケアシステムの構築と何か、またシステム維持向上のための実践を考える。	
13	関係機関や地域組織との連携 ねらい）地域診断に基づく活動展開における「連携」を考える。	
14	地域看護に関わる人材の管理 ねらい）地域看護における人材管理を理解する	
15	まとめ ねらい）地域看護学の実践的課題を考察し、将来的発展を提案する。	

事前・事後学習	単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと
評価の方法	プレゼンテーションの適切な準備、実践評価 40%、ディスカッションへの参加度評価 30%、レポート評価 30%とする フィードバックは適宜行う。
参考図書 ・資料等	1.守田孝恵編著（2013）：展開図でわかる「個」から「地域」へ広がる保健師活動、クオリティケア 2.金川克子,早川和夫　監訳（2007）：コミュニティアズパートナー　地域看護の理論と実際(第２版),医学書院 3. 守田孝恵編著（2021）：保健師活動を展開する扉,クオリティケア その他、授業中、随時紹介する。
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。